

# アジア—海の玄関口—「環境科学部」の周辺

日本の西端に位置する長崎県は日本一長い海岸線や多くの島々と半島からなる自然豊かなところす。長崎は東アジア海域に面し、遠い昔から朝鮮半島をはじめ、中国大陸や東南アジアの国々と交流してきた歴史があり、西暦2000年には日蘭交流400周年を迎えました。鎖国時代におけるヨーロッパや中国との貿易、文化の交流の拠点になったのが出島や唐人屋敷でした。これらが東西文化の「海のクロスロード」となり重要な役割を担っていました。

出島の三学者と称されるケンペル、ツェンペリー、シーボルトは、きわめて精緻な日本研究を行い、風土、本草、政治、経済、信仰、伝統文化など当時の日本のすがたをヨーロッパに伝えました。一方、西洋や中国の文物流入の玄関口であった長崎に、海外の新知識を学ぶために日本全国から多くの学生が遊学しました。彼等はヨーロッパやアジアの文物や情報を受け入れるばかりでなく、医学、自然科学、兵学、思想のほか、オランダ語、英語、中国語などの言語を学び、それを普及させ、その後の日本の近代化の礎を築きました。

このように、長崎は異文化交流の窓口としての輝かしい歴史を持っていますが、一方で負の歴史的遺産を抱えています。第2次世界大戦末期に長崎に投下された原爆は今日に至るまで尾を引く多くの問題と困難を生じさせました。長崎が広島とならんで平和の尊さを世界に発信してきたことは広く知られています。

古来からの外国との交流、そして原爆の経験、これらはいずれも長崎に「歴史の実験現場」という特別な意味を与えてきました。近年はアジア諸国との経済的なつながりを強めていますが、同時にアジアの産業の目覚ましい発展はこの地域に独特の環境問題を生み出しています。こうした中であって長崎大学環境科学部および大学院水産・環境科学総合研究科（環境科学系専攻）は、歴史・文化の蓄積と経験、東アジア海域に面する地域特性を生かし、九州圏から地球規模までの環境研究を先駆し、文化交流と平和の追究に真摯に取り組む人材を育成します。



# 環境科学部への招待



## CONTENTS

環境科学部とは .....	2
何をどう学ぶのか .....	4
カリキュラムの特徴 .....	6
入学から卒業まで .....	8
履修モデル .....	10
研究の深化をめざして .....	18
研究分野 .....	20
環境教育研究マネジメントセンター .....	26
卒業後の進路 .....	28
快適な学生生活をおくるための制度と施設 .....	30
課外活動 .....	34
在学生メッセージ .....	36
学部長あいさつ .....	37